

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：小杉善二 幹事：塩村喜代次

情報委員長：米沢修一

1980・6月26日 第168号

“情報化社会と企業経営”

星稜女子短大教授

福永圭三郎氏



情報化社会とはデータを情報に直す度合いが多い社会であると言えるだろう。

データは日々の事実であり、自然や社会現象を測る事により無限なまでに得られるものであるが、それらを拾い上げ収集し、我々が行動を起す時の意志決定の材料として使っていく社会なのである。

今日自然科学では勿論、医療や経済面での情報は目覚ましいものがある。その理由は、高度化が進み社会の多様化に伴って情報が多く必要になって来た事、又クレジット等の普及、さらに組織の複雑化が挙げられる。今日情報処理の是非が企業の発展に大きく左右されるほどである。

情報処理の手段としてコンピューターがある。実用化になってまだ25年、しかし今や私達の日常生活にどんどん入って来ている。

コンピューターの適用分野は、現在公共料金や利息の計算などの事後処理、又状況の把握等の現在時点の処理であるが今後は将来の予測にこれが使われることが多くなると思われる。計画段階においていかに必要な情報を得るかが益々大事になって来る。

しかし、コンピューターは万能ではなく単なる道具である。これから起こる事を予測することはコンピューターの問題でなく人間の問題なのである。人間がどの様にして材料分析し計画するかが大きなカギであるし、それを使いこなす能力、洞察する人材の養成が今日の問題である。

最近経営の面でオフィスオートメーションという言葉が話題になって来た。工場など製造ではプロセスオートメーション、無人化が目的であったが、事務や経営の段階において、人間がいかに創造的な力、又鋭い先見性を発揮する場をいかにして作るかと言うことがこのオフィスオートメーションの狙いである。

感謝の一年

1979～1980会長 小杉 善二



栄光の北RC六代目会長の御指名をいただき、素直な心で奉仕の実践を心に誓い、会員諸兄の絶大なる友情と御協力を賜り、大過なく次年度に申し送り出しましたことを、心から厚くお礼を申し上げます。

年度の前に事業計画……………一年の計は元旦に
カレンダー方式……………一目でわかるクラブの活動
綿密に責任を以て計画された各委員会の事業は、カレンダーから一つ一つ消えてゆく。国際奉仕に職業奉仕に社会奉仕にクラブ奉仕と
楽しみ喜び悲しみのこの一年。

- 54.10.4 今日には6周年記念の例会。希しくも水野さんと永久の別れとなる。
- 54.10.13 261地区年次大会、ホスト七尾RC。すばらしい天候に恵まれる。晴れの受賞、出席会員29名、喜びをわかす。会員増強優秀クラブ賞、ロータリー財団優秀クラブ賞、米山奨学会協力優秀クラブ賞、米山功労者賞。
- 54.12.6 田中ガバナーの公式訪問、お得意先の田中さん、社会奉仕委員長を共にする日頃尊敬する心ゆたかなガバナーに、御指導に感謝する。
- 55.2.19 ロータリー創立75周年、金沢5RC合同記念例会（センチュリープラザ）初めて5RCが一室に会する意義ある式典、ロータリアンの感激。
- 55.4.3 ロータリー梅林石碑の除幕式、日本晴れのもと来賓尾戸助役、田中ガバナー、山下地区幹事、伊東分区代理、4RC会長・幹事・会員多数で。
- 55.4.6 門前RC認証状伝達式、あいにくの悪天候、15名の参加、山上さんからわかめのお土産をいただく。御馳走様。
- 55.4.24 駐日オーストラリア大使をお迎えする。交換学生、国際交流の懇談会。
- 55.5.17 京都洛北RC会員家族を能登・加賀屋に迎えて、楽しいつどい。洛北RC38名、金沢北RC44名、洛北さんに複雑な事情あり、釣見さん御苦労さま。

塩村幹事さん永い間ありがとうございました。

ロータリーニュース

ジョン君さようなら



昨年8月来日、当クラブホストで受け入れたバッファロー交換学生ジョンワレンタ君の送別会が、6月19日(木)石亭で行なわれた。

当日は、一年間ジョン君を受け入れて下さった桜丘高校の林校長、担任の寺田先生、梶本先生はじめ、ホストファミリーのご夫妻、会長、幹事、国際奉仕委員の方たち合計19名の出席。

この一年間の思い出話や苦労話などに耳をかたむけ、最後はジョン君が一年間の感想を実にりゅうちょうな日本語で話し、彼の想像以上の日本語の上達ぶりに皆感心していた。

ジョン君の帰国は実に名残りおしいが、帰国後も一年間の日本での経験を生かし、勉学に励んでほしい。

先人の教訓 「ロータリーは出席が一番大切」

1979～1980幹事 塩村喜代次



すべてに熱心な小杉会長のもとで幹事として働かしていただきや
っと一年間がすぎました。その間会員諸兄のあたたかい御指導によ
り無事任務を果すことが出来まして心から御礼を申し上げます。

さて「下手な横ずき」と申しまして私にもたゞ学びたい、やりた
いと思うものがいくつもあります。その中で「ゴルフ」がありますが、
なぜこんなに好きなのだろうと考えたことがあります。綺麗な
広い広い芝の上で潑刺と思いつき切りプレーを楽しめるのはたしかに大
きな魅力かも知れません。しかしそれ以上に私達を引きつけるもの
は、あたりまえで気にもかけないことであるかも知れないが、スコ

アが非常に正確に各プレーヤーによって記録されて行くと言うことであります。

そして基本でもあるということです。凡てのペナルティーは必ず加算し、同伴者の見ていない凹地や
松林に於ける「カラ振り」であっても競技者自身が正直に一打として扱い極めて適正にスコアが申
告されることであり、プレイ中同伴者が審判員ともなったり、いい意味の助言者ともなるなど、気
持ちの楽しい紳士的なスポーツであることを忘れてはならないと思う。

このように一ラウンド「96打」とか「102打」で廻ったと言うスコアは極めて信頼が於ける数であ
ることはごく平凡でなんでもないのであるが大変大切なことでありこれが確立されていればこそ
各ゴルフ競技会も盛況を極め今日のように多数の人々によって愛され、親しまれているスポーツで
ある筈であります。

では、ロータリーを心から好きになりたい、理解したい、金沢北ロータリークラブを永遠に愛し
育てて行きたいと思うとき、ゴルフで見るとような正確なスコアを求めなくてはならないしクラブの
誇るべき何かがなくてはならない。

それは出席であります。一人一人の会員により、毎日毎週積み重ねられて行く正確で、堂々たる
出席そのものであります。「ロータリーは出席が一番大切」と教えられるのはこの点であると思うし
基本に忠実で正確な出席を求められる。決して形式的な出席を追ってはいけないうし、それは今後
われわれの心の中で汚点となって残ることにもなる。

では「正確で堂々たる出席」それはどう言うことであろうか、そんなにむづかしいことではない
ように思う。二週間のうちに一時間づ、二回どこかのRCへ出向すれば足りることです。(金
沢市内では特にめぐまれた立場にある)

御仕事の関係などで萬已むを得ないとき以外はいたづらに早退するなどは形式に走るものであり
「正確で堂々たる出席」とは言えそうもないわけでありまして。そして、もう一歩進め、正確で堂々た
る出席を99%にしたいものである。(55年4月出席率97.76%地区内11位)

会員全員が一寸努力すれば、案外たやすく出来るような気がする、目の前の出席率99%でもある。
正確で高い出席率を誇るRCはそのメンバーによって愛されるわけであり、自分が自分のためにも
最大の努力をすべきは出席でもあり正確さでもあります。

幹事一年間をかえりみて私ながらの感想を申し述べました。次年度は極めて優秀なる土原会長と
山上幹事を中心としたよりすばらしい金沢北ロータリークラブが出席率と共に大きく前進すること
を念じて止まない。

